



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

管理栄養士による病棟栄養管理の取組紹介

栄養管理部

栄養管理部では、患者さんの早期退院を目指して「早期栄養介入」を実施しております。「早期栄養介入」とは、栄養不足が懸念される患者さんに対し、入院後速やかに栄養面のサポートを実施することです。患者さんの入院後48時間以内に、管理栄養士を中心とした多職種（管理栄養士・医師・看護師・薬剤師など）間で栄養状態を様々な指標にて確認・共有し、最適な栄養プランを検討しております。最適な栄養を速やかに摂取し、身体の栄養状態をより良く保つことで、病気やケガからの早期回復につながります。当院では、令和元年度から集中治療部（ICU）での開始を皮切りに、現在は救命救急センター、きぼう棟8階西病棟でもこの取組みを実施しております。

集中治療部（ICU）や救命救急センターには、手術を受けた方や救急搬送されて来た方など、身体に大きなダメージを負われた患者さんが入室されます。そのような状態において身体は栄養不足に陥りやすく、治療に耐えられる状態を維持することがとても重要となることから、「入院前の栄養摂取の状況は

どうだったか」「お食事を飲み込むことができるか」などを確認し、栄養プランを検討していきます。きぼう棟8階西病棟には、消化器疾患により十分に食事ができない患者さん

や、リウマチ疾患による筋力低下などの症状を持つ患者さんが多く入院されております。特に、食事ができない患者さんは栄養不足に陥りやすいため、鼻からチューブを通して胃腸まで栄養剤を送る方法や、点滴による方法などを提案し、体重減少や栄養状態の悪化防止に努めています。また今年の4月から、きぼう棟8階西病棟では管理栄養士の常駐を開始し、多職種とのより早い情報共有が可能となったことで、患者さんの栄養状態の変化に対して迅速な対応ができています。

なお、「早期栄養介入」を実施している上記3つの病棟以外でも、管理栄養士が食事の内容について患者さんの声をお聞きするほか、腹部聴診や食事介助を行うなど、一人一人に寄り添ったサポートに努めております。

入院中の栄養や食事について、わからないことや不安なことがございましたら、栄養管理部までご相談ください。患者さんに1日でも早く元気になっていただくため、これからも充実したサポートを提供してまいります！



輸液や機器の確認



腹部聴診



食事介助

第63号のなかみ

- 1 ページ…○管理栄養士による病棟栄養管理の取組紹介
- 2 ページ…○中学生の職場体験
○高校生の一日看護体験

- 3 ページ…○新任挨拶
○緩和ケアってなに？
- 4 ページ…○まなびチャレンジ！お仕事体験2023に参加
○きいてください 院長さん

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

福島市 太平寺 スキップフロアの家

UNNO HOUSE
UNNO HOUSE CONCEPT HOUSE

株式会社ウノハウス 福島支店
☎0120-36-1131

当院は、福島市が主催している「中学生ドリームアップ事業職場体験活動」の受入先となっております。令和元年度以降新型コロナウイルス感染症の影響のため実施を見合わせておりましたが、今回約4年ぶりの受入れとなり、9名の中学生が職場体験に訪れました。

各職種の役割やチームワークの大切さについて学んでもらうため、看護部、臨床工学センター、放射線部、検査部、薬剤部等で体験活動をしていただきました。現場でなければできない貴重な体験をし、第一線で働

くスタッフとの関わりを通して、「医療者になりたい夢がより一層ふくらみました」という感想もありました。将来の職業選択の一助となれば幸いです。

当院スタッフも、生徒さんたちから元気で明るい笑顔と若いパワーをいただき、貴重な1日となりました。

【時期・学校名】

6月27日(火)～29日(木) 信夫中学校

7月5日(水)～6日(木) 福島大学附属中学校



高校生の一日看護体験

看護部

毎年、福島県看護協会では、高校生を対象に県内各地の施設で「高校生看護一日体験」事業を実施しています。この事業は、地域の高齢化および医療の高度化とともに看護の社会的需要が高まる中で、21世紀を担う高校生に「看護体験」を通して、看護の仕事は人々の生命を守る大切な仕事であることへの理解を深め、看護に対するイメージを持つことにより、看護への関心を高めることを目的としています。ここ数年は新型コ

ロナウイルス感染症のため中止となっておりますが、当院では今年、4年ぶりに13名の高校生を受け入れました。

高校生は、病院の概要や看護師の仕事についての説明のあと、各病棟で看護場面の見学や、看護師と一緒に看護ケアを行いました。その後、ドクターヘリの見学をして、実際の大きさに驚き、ヘリナースからの話を熱心に聞く様子がありました。最後に3つのグループに分かれて体験の振り返りを行い、「今まで知ることがなかった現場を見ることができて、看護師の仕事について理解できた」「あらためて看護師になりたいと思った」「コミュニケーションが大事ということを知った」「看護師はやりがいのある職業だと思った」などの感想が聞かれました。

今回は半日という短い時間ではありましたが、高校生の皆さんは意欲的に参加しており、現場の看護師も初々しい高校生を迎え入れることでフレッシュな気持ちになりました。これを機会に、今後看護職への進路を選択してくれることを期待しています。



新任挨拶



人工関節センター 部長 龍 啓之助

令和5年8月1日より人工関節センター部長を拝命いたしました、龍啓之助（りゅうけいのすけ）と申します。当センターでは下肢（股関節、ひざ関節）を中心とした疾患の保存療法から手術治療まで、患者さんと相談しながら適切な治療方法を選択し、世界最高水準レベルの医療を提供しています。

手術においては、股関節で筋肉や腱、靭帯に侵襲を加えない、筋腱靭帯完全温存手術を福島県内で初めて採用しました。これにより患者さんの術

後疼痛の軽減、入院期間の短縮、早期社会復帰が可能となりました。また、ひざ関節では関節鏡手術、骨切り術、人工関節置換術などから、患者さんのニーズに合わせて術式を選択することで、病気になる前のライフスタイルの再建を目標に治療を行っています。

股関節やひざ関節の痛みや違和感、不安定感などの症状でお困りの方はぜひ、当センターまたは下肢関節スポーツ外来までご相談ください。「以前のようにスポーツがしたい」「膝を真っすぐにしたい」「孫と海外旅行に行きたい」など、皆さんのご希望に少しでも近づけるお手伝いができましたら幸いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

緩和ケアってなに？

緩和ケアセンター

みなさんは緩和ケアについてどのようなイメージをお持ちでしょうか。

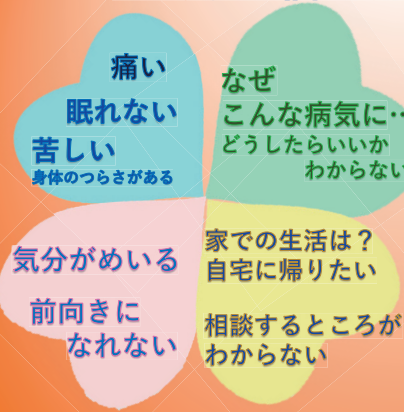
緩和ケアは、終末期医療とイメージされる方が多いようですが、病気の進行に関係なく、患者さんやご家族がつらさを感じた時には、いつでも受けることができます。

緩和ケアセンターでは、緩和ケア専門の医師・看護師が中心となり、薬剤師・医療ソーシャルワーカー・理学療法士・管理栄養士などの多職種と連携したチーム医療を提供しています。がん患者さんに対しては「痛みやつらさの質問票」で早期から対応できるように体制を整えているほか、入院患者さんに対しては「緩和ケアチーム」が病棟スタッフと連携して、患者さんやご家族の支援を行っています。

緩和ケアセンターでは、がんに限ら

ず重い病気を抱える患者さんやそのご家族の身体や気持ちのつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう、外来・病棟スタッフと情報を共有して対応にあたっています。何かお困りの際は、外来や病棟の担当スタッフを通して、緩和ケアセンターにご相談ください。

ひとりで悩んでいませんか



こんな時、
緩和ケアセンターに
ご相談ください

緩和ケアに関するご相談は
緩和ケアセンターまで
(病院1階郵便局向いです)
Tel. 024-547-1085

共に働く仲間を募集します！

正社員（1年毎更新有）・パート同時募集

■入院会計・診療報酬請求業務

勤務場所/福島県立医科大学附属病院
勤務時間/8:30～17:15（昼休憩60分）7時間45分勤務
給 与/月給147,000円～（手当含む）*経験・資格等で決定します
賞 与/年2回・4カ月支給
福利厚生/資格取得に関する補助金制度有

経験者大歓迎！
未経験者でも、あなたのやる気をお待ちしております。
先ずはお電話ください☎024-548-0800（担当/石川・小泉）
創業51年、安心して働ける職場づくりを目指しています

東京医療化学株式会社

どなたでもご利用いただけます

理・美容室 ともれび

福島県立医科大学附属病院（きぼう棟1階）

〈メニューの一例〉（税込）
● カット（シャンプー・ブロー込み） 女性 3,600円 男性 3,000円
● シャンプー（ブロー込み） 1,500円 1,300円

炭酸シャワークレンジング（他メニューにプラス）1,000円
シャンプーでは落とすきれない頭皮の汚れを除去して、スッキリ。

直通電話 024-547-2325（内線：4187）

営業時間 月曜～金曜 9:00～18:00（祝日も営業） 定休日 土曜・日曜



ともれびの紹介は



福島医大病院ニュースレター

まなびチャレンジ！お仕事体験2023に参加

臨床工学センター

令和5年8月5日（土）、当院臨床工学センターは福島市アクティブシニアセンター「アオウゼ」で開催された「まなびチャレンジ！お仕事体験2023」に参加し、50名の子どもたちに「医療のしごと」を体験していただきました。

医療機器の操作体験にあたっては、当院の臨床工学技士4名がサポートしました。会場に用意された電気メス、超音波診断装置、手術着・手袋・帽子はすべて医療現場で実際に使われている本物です。「先生お待たせいたしました」と呼ばれ電気メスを握った時の子どもたちの表情は真剣そのものでした。「楽しかった！お兄ちゃん、お姉ちゃんに自慢しよう」「電気メスの切れ味にびっくりした」などと楽しげな表情で会場を

後にしました。

将来を担う子どもたちの輝く眼に感動し、少しでも医療分野の職業に興味を持ってもらえたらと思います。



きいてください 院長さん
—より良い医大病院にするために—

いただいた御意見

「病院前の通路に設置されている金属製の蓋について、雨天や降雪時に大変滑りやすくなり危険です。」

⇒ ご指摘を踏まえ、滑り止め加工をしました。



「採血、採尿受付機の付近に時計を設置していただけるとありがたいです。」

⇒ 壁掛け時計を設置しました。



スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。
高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。



すべてを地域のために

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**
窓口営業時間：平日【午前の部】9:00から11:30
【午後の部】12:30から15:00

電話 024-548-5331 受付時間：平日 9:00から11:30
12:30から17:00